## Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

| グループ名称 | 静岡・牧之原eco住樹の会 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| H30採択グループ番号 | 07 | ― | 0237 | ― | 0437 |

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

| | |
|---|---|
| 内容 | グループの取り組みとして、グループオリジナルのモデル住宅の仕様カタログを作成し、グループ構成員の工務店から消費者へ配布する事でグループの地域型住宅「自然の恵」の周知活動を行いました。<br>また、各構成員へ地域型住宅のホームページ掲載を促し、消費者に対するアプローチツールとしての活用を進めました。 |

B 各種説明会・研修会の実施について

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①事業 | 事業実施説明会 | 有 | 開催日 | 2018/04/24 | 名称 | 総会・平成30年度グリーン化事業概要説明会 | | | ● |
| | 内容 | 毎年4月末から5月中旬までに総会を開催してきました。30年度は4月24日に前年どの活動報告と会計報告と今年度の事業計画と30年度のグリーン化事業の概要の説明を行いました。総会後、講師を招き時流にあった講習を開催して新規会員の参加を促しております。また、構成員間の相互協力体制を強化するため、懇親会を開催しました。 | | | | | | | |
| ②消費者 | 消費者説明会 1 | 有 | 開催日 | 2018/06/23 | 名称 | 住まいの耐震博覧会バスツアー | | | ● |
| | 内容 | 名古屋で開催の住宅・木材の展示会に構成員と消費者を対象にバスツアーを行いました。構成員が消費者と同行し、最新の住宅設備機器の見学や、木材ブースで地域材の家づくりを体験して頂きました。また、イベント会場で開催される各種関連セミナーへの参加も促し、構成員工務店と消費者が一緒に参加できる企画の実施が出来ました。 | | | | | | | |
| | 消費者説明会 2 | 有 | 開催日 | 2019/02/02 | 名称 | 住まいの耐震博覧会バスツアー | | | ● |
| | 内容 | 東京で開催の住宅・木材の展示会に構成員と消費者を対象にバスツアーを行いました。構成員が消費者と同行し、最新の住宅設備機器の見学や、木材ブースで地域材の家づくりを体験して頂きました。また、イベント会場で開催される各種関連セミナーへの参加も促し、構成員工務店と消費者が一緒に参加できる企画の実施が出来ました。 | | | | | | | |
| ③工務店 | 工務店研修会 1 | 有 | 開催日 | 2018/10/24 | 名称 | いまさら聞けない太陽光発電のはなし・蓄電池ってどう | タイプ | 座学 | ● |
| | 工務店研修会 2 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |
| | 工務店研修会 3 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |
| | 工務店研修会 4 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |
| | 工務店研修会 5 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |

C 未経験工務店へのサポートの実施について

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 取組み① | サポートの有無 1 | 有 | | |
| | 内容 | 未経験工務店のサポートとして事務局が構成員の工務店と消費者へ同行訪問し、グリーン化事業における補助金の説明や、長期優良住宅・認定低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅の説明をローンシミュレーションを活用して行う事で、未経験工務店の営業活動のサポートを行いました。<br>また、構成員の設計士を紹介し、円滑な設計・施工・各種申請手続きのサポートを行いました。 | | |
| 取組み② | サポートの有無 2 | | | |
| | 内容 | | | |
| 取組み③ | サポートの有無 3 | | | |
| | 内容 | | | |

D 住宅履歴情報の蓄積について

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① 履歴情報預り証の発行件数 | 発行済 | 0 | 発行予定 | 0 | |
| ② 住宅履歴情報の保管先 | 情報サービス機関 | 機関名 | ㈱プロパティオン | | |

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

| | | |
|---|---|---|
| ① 施工構成員の廃業に対する体制 | 有 | |
| 内容 | 事務局にて、施工構成員への定期的な訪問により、経営状況や受注計画、業績予測の把握に努め、必要に応じて経営フォローを行いました。<br>現時点では施工構成員の廃業は発生していませんが、後継者のいない構成員の廃業に備え、グループ内での協力体制の構築や消費者への工務店紹介体制の構築を始めました。 | |
| ② H30年度における施工構成員の廃業 | 無 | |
| 対応内容 | | |

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

| | | |
|---|---|---|
| 省エネ化に対する取組 ① | 有 | |
| 内容 | 事務局主導で構成員向けに卒FITと題した講習会を行い、改めて太陽光発電システムの存在意義について認識して頂き、蓄電池の導入に向けた知識の向上が出来ました。 | |
| 省エネ化に対する取組 ② | | |
| 内容 | | |
| BELS工務店の登録数 | 1 社 | |

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

| グループ名称 | 静岡・牧之原eco住樹の会 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| H30採択グループ番号 | 07 | ― | 0237 | ― | 0437 |

A 各種説明会・研修会の実施について

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①事業 | 事業実施説明会 | 有 | 開催日 | 2019/05/17 | 名称 | 総会・2019年度地域型住宅グリーン化事業の概要説明会 | | |
| | 内容 | 総会では30年度の事業報告と活動計画案の発表。講師を招き2019年度のグリーン化事業の概要の説明を行い、前年度との違いや事務局からのお願い事項の発信を行いました。また、地域型住宅の未経験工務店の支援策として「自然の恵み」パッケージ化のご提案にむけたセミナーを開催。 | | | | | | |
| ②消費者 | 消費者説明会 1 | 有 | 開催日 | 2019/08/24 | 名称 | 夏の感謝祭 | | |
| | 内容 | 地域の皆様に感謝祭として夏祭りのように近隣の商店の皆様と合同にイベントを行いグループの皆様にも参加して頂き、住まいの設備などの展示や移動展示車による見て触れて体感できるブースを設けグループのカタログなどを配布して認知活動を行う予定です。 | | | | | | |
| | 消費者説明会 2 | | 開催日 | | 名称 | | | |
| | 内容 | | | | | | | |
| ③工務店 | 工務店研修会 1 | 有 | 開催日 | 2019/10/24 | 名称 | 進捗状況の確認並びに研修会 | タイプ | 座学 |
| | 工務店研修会 2 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | |
| | 工務店研修会 3 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | |
| | 工務店研修会 4 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | |
| | 工務店研修会 5 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | |

B 未経験工務店へのサポートの実施について

| | | | |
|---|---|---|---|
| 取組み① | サポートの有無 1 | 有 | |
| | 内容 | 消費者向けの地域型住宅標準仕様カタログを作成し、松竹梅と三段階に仕様を分け、価格設定を行う事で長期優良住宅・認定低炭素住宅・ゼロエネ住宅との説明と、契約に向けたアプローチの役割を担うツールの作成をします。<br>また、定期的に工務店様の営業力の向上するために作成したカタログを使った営業研修会の実施を予定しています。 |
| 取組み② | サポートの有無 2 | | |
| | 内容 | |
| 取組み③ | サポートの有無 3 | | |
| | 内容 | |

C 住宅履歴情報の蓄積について

| | | | |
|---|---|---|---|
| 住宅履歴情報の保管先 | 情報サービス機関 | 機関名 | ㈱プロパティオン |

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

| | | |
|---|---|---|
| ① 施工構成員の廃業に対する体制 | 有 | |
| 内容 | 構成員の経営者・従業員の高齢化が進み、事業継承を断念するケースが想定されます。担い手不足を事務局から構成員へグループの共通課題として議案に挙げ、構成員相互の協力体制の構築の他、各構成員と提携している司法書士・公認会計士との協力体制を構築し、後継者不在による事業継承のサポートと構成員同士のマッチングを行います。 | |

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

| | | |
|---|---|---|
| 省エネ化に対する取組み （新築） | 有 | |
| 内容 | 消費者に向け、省エネルギー住宅の特徴やメリットを簡潔に発信できるZEHカタログを作成し、消費者がスムーズに内容を理解できるように努めます。また、省エネ住宅の完成見学会にて消費者に向けた啓蒙活動を行い、住宅の省エネルギー化を推進します。 | |
| 省エネ化に対する取組み （改修） | 有 | |
| 内容 | 事務局主導で断熱改修プランを作成する事で、各施工構成員が消費者に分かりやすく断熱改修工事を提案出来るようにします。 | |

F 省エネ改修に関する研修の計画

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 研修計画 ① | 有 | 実施日 | 2019/07/25 | |
| 内容 | 内窓施工とお施主様に提案できるようにメーカーさんに協力して頂き施工研修並び商品の勉強会を予定しております。 | | | |
| 研修計画 ② | | 実施日 | | |
| 内容 | | | | |

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

| グループ名称 | 静岡・牧之原eco住樹の会 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| H30採択グループ番号 | 07 | ― | 0237 | ― | 0437 |

A 提案する地域型住宅の特徴

| | | |
|---|---|---|
| 内容 | 当グループの地域は温暖にもかかわらず、住宅内のヒートショックによる事故が多い地域の為、供給する住宅の断熱性能を高い住宅を提案します。<br>日射時間が全国上位である為、自然の力と上手く共存していく住宅であり、自然から得られるエネルギーを活用し、地域の木材を使用した在来工法や米松・集成材・SPFを中心とした合法木材の輸入の流通が盛んな地域である為木材を活用した工法での住宅を供給をしたいと思います。 | |

B 地域材の利用に関する共通ルール

| ①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合 | 50%未満 | | 50%以上 | ■ | 80%以上 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| ①-2 地域材の使用部位 | | | ② 地域材の利用に関する補足説明 |
|---|---|---|---|
| 主要構造材 | 土台 | 有 | 1棟あたりの主要構造材に合法木材証明制度による木材、または静岡県産材による木材を50%以上使用する。<br>主要構造材はKD材、または集成材を使用する。<br>地域材（主要構造材）の使用比率は50%以上とするが、使用部位ごとの比率は問わない。 |
| | 柱 | 有 | |
| | 梁・桁等の横架材等 | 有 | |
| 羽柄材 | 間柱、根太、垂木等 | 無 | |
| 造作材 | 枠材、廻縁等 | 無 | |
| 板材 | 壁板、床板等 | 無 | |

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

| | | |
|---|---|---|
| ① 地域材の調達の共同化に向けた取組み | 有 | |
| 内容 | 仕様や規格の統一によりアイテムを絞ることで必要数量を把握し、適正量を在庫する。 | |
| ② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み | 有 | |
| 内容 | 規格住宅のカタログを作成することによってグループなでの資材の共通化や商品知識の勉強会の実施 | |
| ③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化 | 有 | |
| 内容 | 原木業者から施工構成員まで一同に介した情報交換会を開催し、事務局中心に需給予測を行う。 | |
| ④ 施工に関する統一ルール | 有 | |
| 内容 | 技術の習得に向けた研修会の開催やメーカー商品の施工マニュアル研修会など事務局主催で実施しています。<br>メーカー営業同行での個別工務店様への認知活動も定期的に行っております。 | |
| ⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール | 有 | |
| 内容 | グループ内で点検告知や点検項目などのフォーマットを統一する。<br>維持管理計画を作成し、それに基づいたメンテナンスを構成員が実施できるようにグループ内でのルールの勉強会を実施する。 | |
| ⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外） | 有 | |
| 内容 | 瑕疵保険法人が設定する施工基準をグループの統一基準とする。<br>各工程ごとのチェック表を作成して住宅履歴サービスとのリンクができるようにする。 | |
| ⑦ 見積りに関する統一ルール | 有 | |
| 内容 | メーカーの定価見積書の添付や商品写真などを添付した資料にすることでお客様にわかりやすい見積を提示する。 | |
| ⑧ その他の共通ルール | 有 | |
| 内容 | 3ヶ月に一度を目安にグループ内で勉強会や認知活動を行う。<br>特に職人不足の問題解決の為、当グループ内のメンバーでの技術の継承の場を提供したり若い職人の育成勉強会を実施しています。勉強会後の懇親会を開催してグループ内の協力体制の強化など話し合いの場を設けています。 | |

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 週休2日制の導入の取組 | 有 | 内容 | 施工構成員には、労働カレンダー（モデル）作成し、週休2日制を推進する。 |
| ② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組 | 有 | 内容 | 建設キャリアアップシステムを積極的に取り組む。 |
| ③ 社会保険への加入 | 有 | 内容 | 施工構成員から社会保険の加入状況を聞き取りを行い、対策を検討する。 |
| ④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組 | 有 | 内容 | 安全協力会を実施、意識を高め、発生した事故のを共有する。 |

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（3）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

| グループ名称 | 静岡・牧之原eco住樹の会 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| H30採択グループ番号 | 07 | ― | 0237 | ― | 0437 |

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 畳の活用 | 有 | 内容 | 当グループの一部地域では外国人労働者が比較的多い地域がある為、日本ならではの畳の和室や床の間なども積極的に取り入れて日本住宅の心地よさを発信していく。 |
| ② 和瓦の活用 | 無 | 内容 | |
| ③ 襖・障子の活用 | 無 | 内容 | |
| ④ 地域の伝統的素材の活用 | 無 | 内容 | |

B 地域の住文化に関する取組み

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 地域の伝統的なデザインの継承 | 無 | 内容 | |
| ② 地域の住まい方の継承 | 有 | 内容 | 当グループの一部地域では少子高齢化が如実に現れている地域もある為、「静岡・牧之原eco住樹の会」が高齢者と子供をつなぐ「場」となり、住まい方や生活そのものの相談会を開催していく取り組みを実施する。 |
| ③ 地域の街並み形成への配慮 | 有 | 内容 | 晴天が多い地域の為、軒や庇を積極的に取り入れる。また、富士山や駿河湾など景観に恵まれている地域の為、窓や玄関からの景観を極力配慮した取り組みを実施する。 |

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

被災地域の建築資材を積極的に使用する。

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

事務局がグループ構成員に対して災害時にて連絡を取り、地域住宅に安全点検や応急措置が必要な場合は構成員の協力を促し地域の家守りとしての体制を整備する。